



MILESTONE™

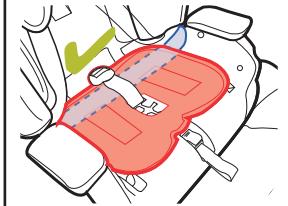
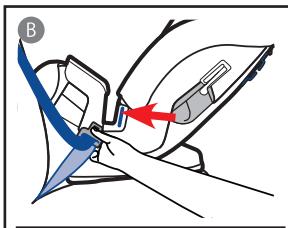
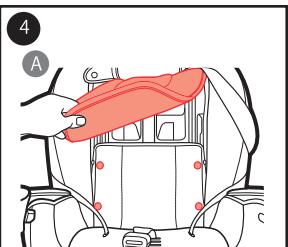
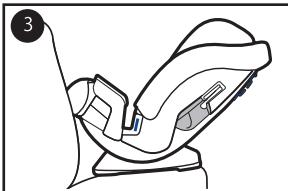
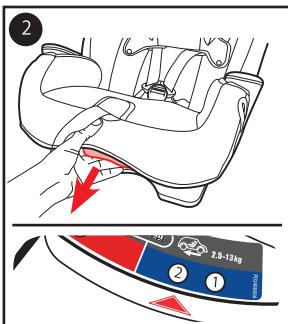
グレコ マイルストーン

重要 本書を大切に保管してください。



JP

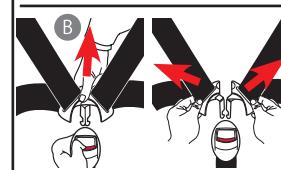
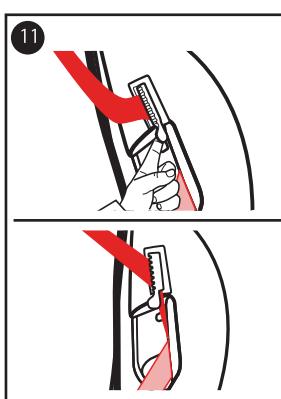
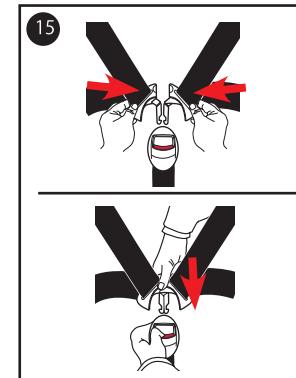
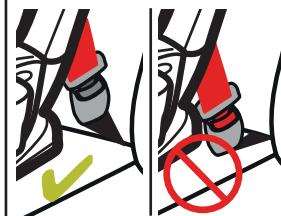
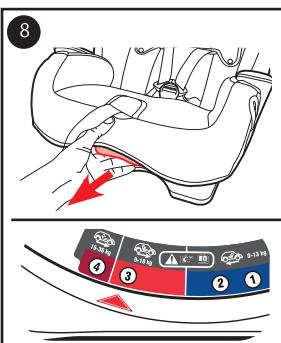
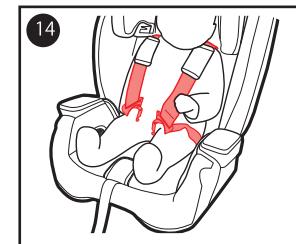
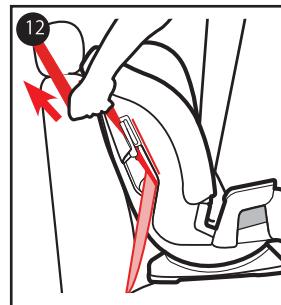
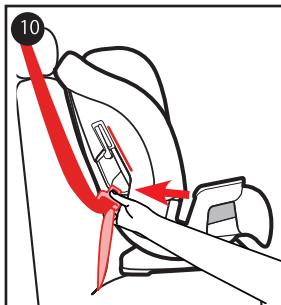
取扱説明書
部品リスト
車への取り付けガイド

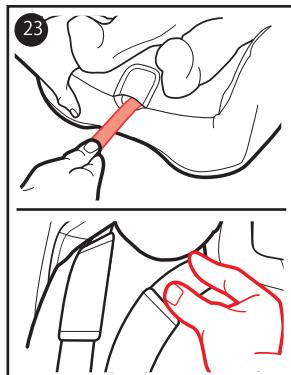
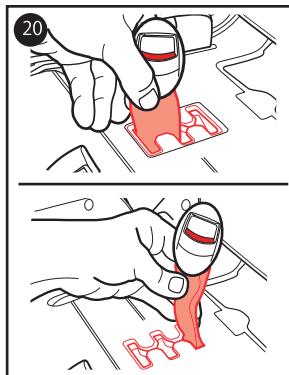
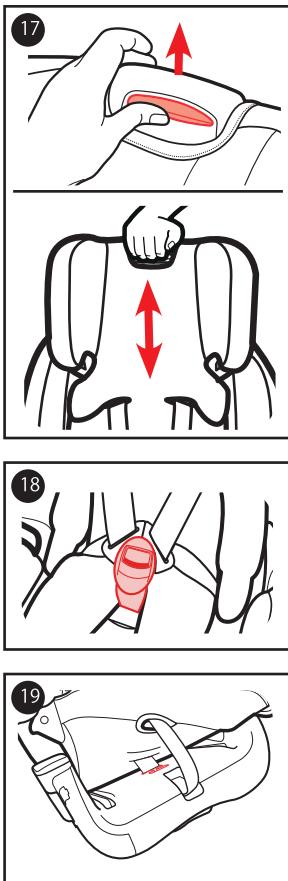
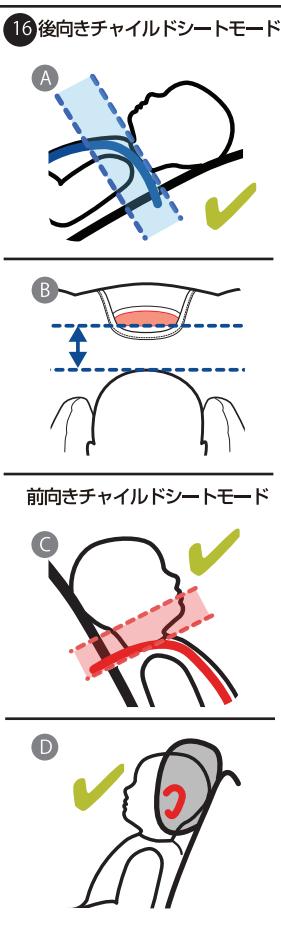


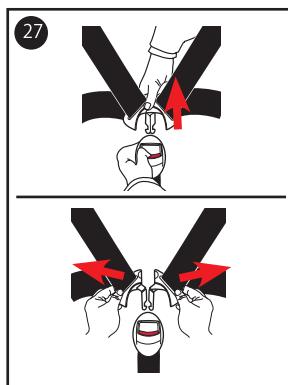
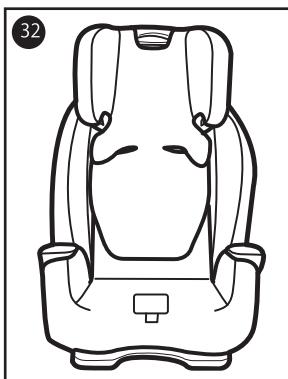
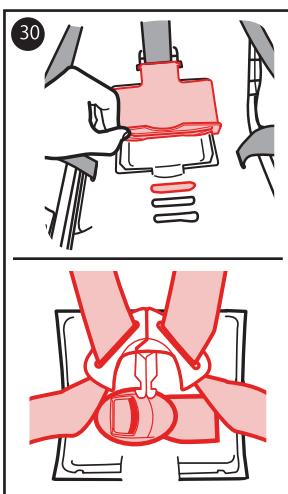
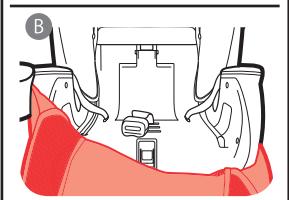
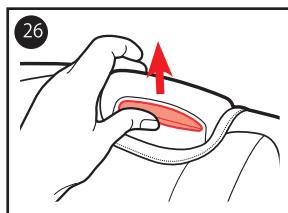
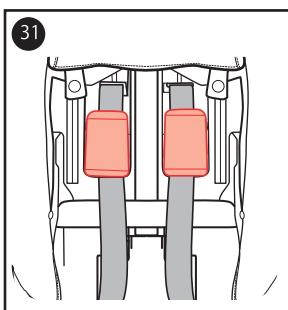
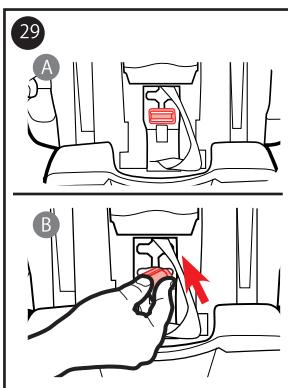
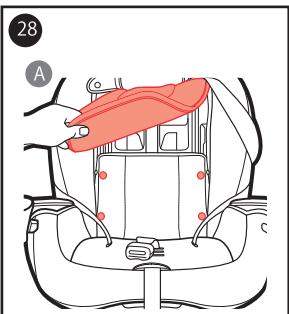
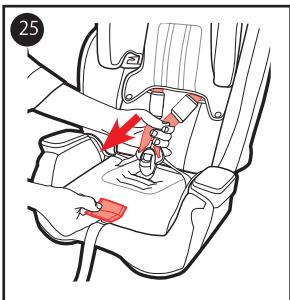
正しい製品の取扱です。

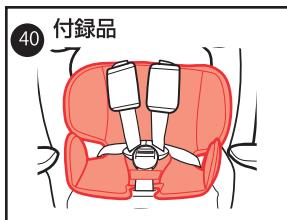
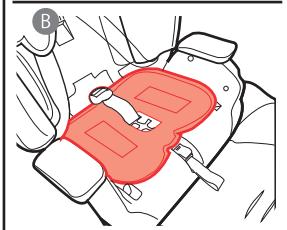
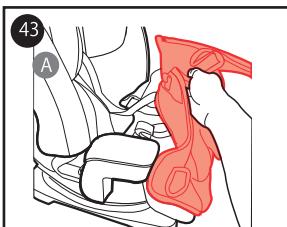
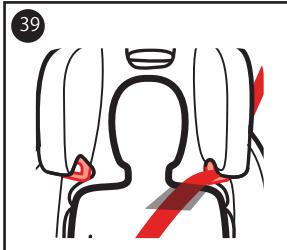
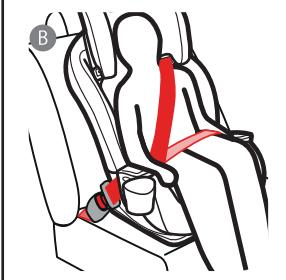
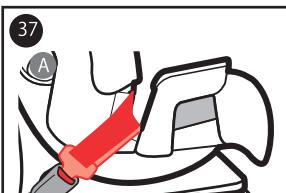
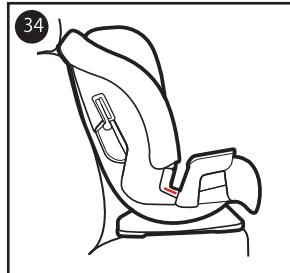
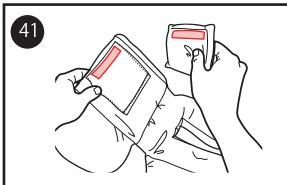
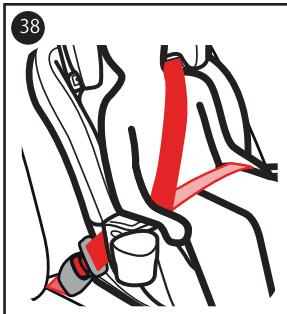
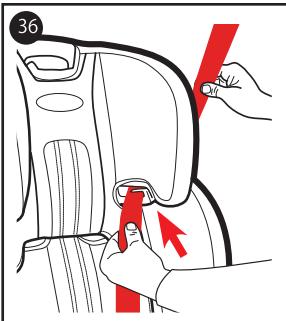
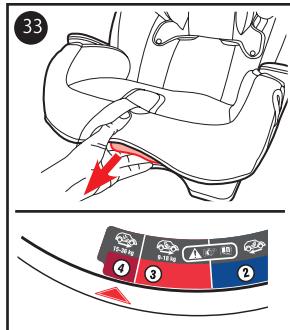


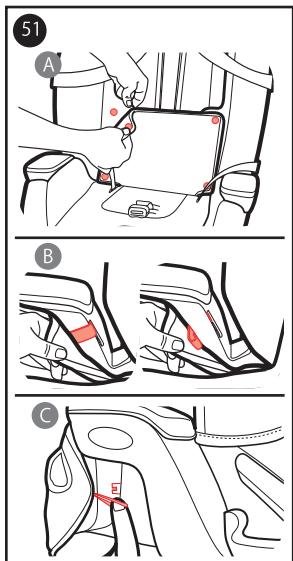
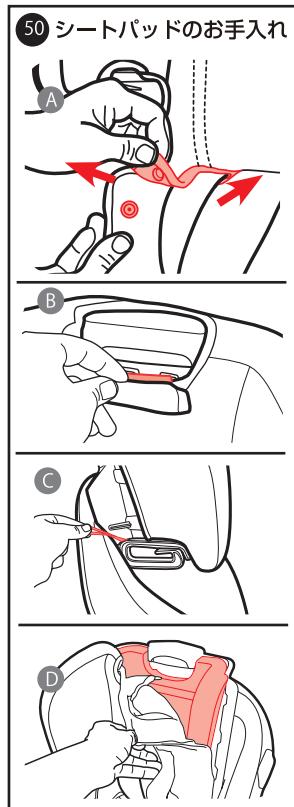
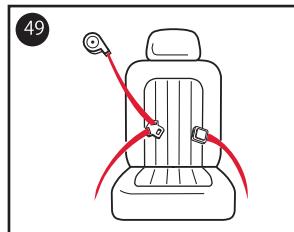
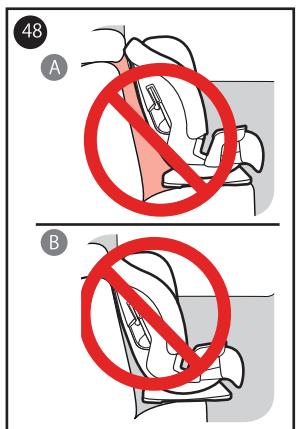
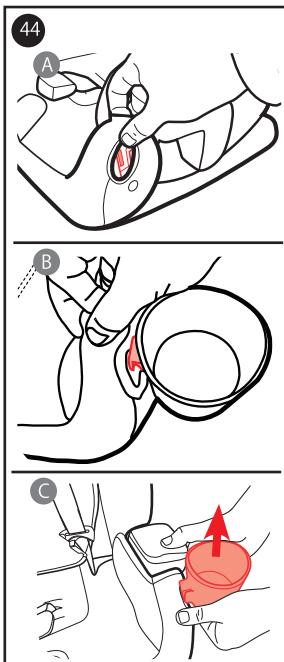
製品の取扱における禁止行為です。

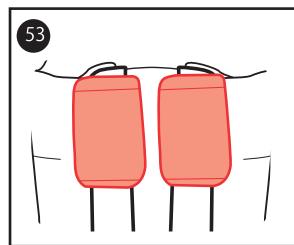
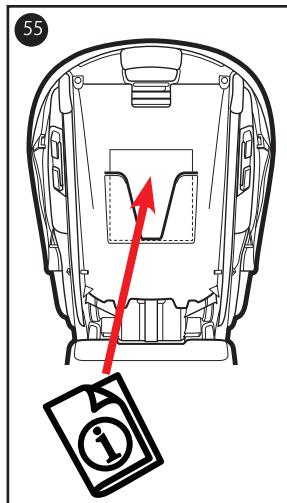
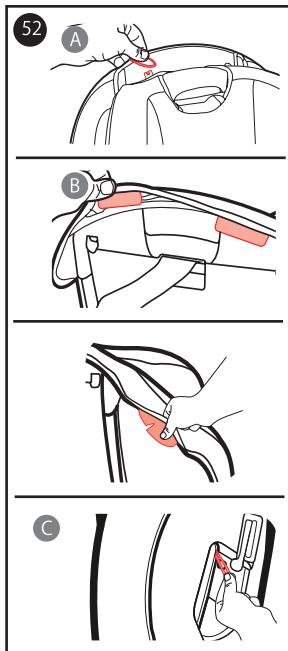




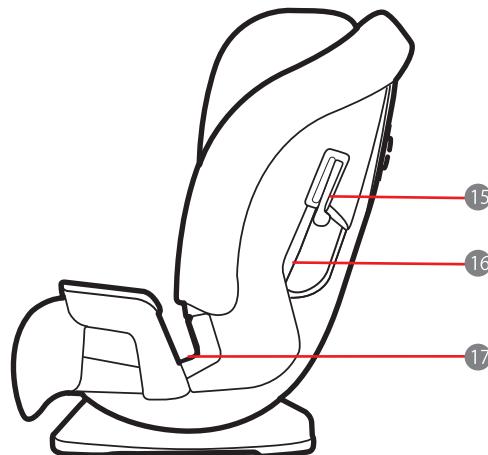
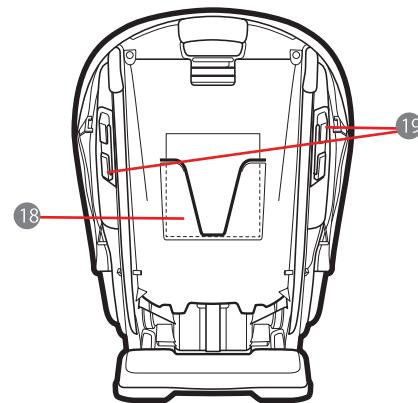
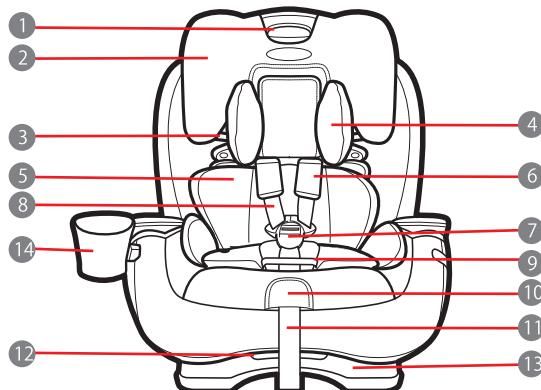








部品リスト



- | | |
|---------------------|---------------------------------|
| ① ヘッドレスト/肩ハーネス調整レバー | ⑯ ロックオフデバイス(前向きチャイルドシートモード時) |
| ② ヘッドレスト | ⑰ シートベルトガイド1(前向きチャイルドシートベルト時) |
| ③ 肩ベルトガイド | ⑰ 腰ベルトガイド(ジュニア/後向きチャイルドシートモード時) |
| ④ 頭部クッション | ⑱ 取扱説明書収納ポケット |
| ⑤ インナーカッショーン | ⑲ シートベルトガイド2(後向きチャイルドシートモード時) |
| ⑥ ハーネスカバー | |
| ⑦ バックル | |
| ⑧ 肩ハーネス | |
| ⑨ 股ハーネスカバー | |
| ⑩ 調整レバー(シートカバーの下) | |
| ⑪ 調整ベルト | |
| ⑫ リクライニングレバー | |
| ⑬ ベース | |
| ⑭ カップホルダー | |

△警告

本装置を初めて使用する前に、
取扱説明書(本書)を最後までよく読んでください。

本書は、本装置の背面にある取扱説明書収納ポケットにいつも差し込んで保管してください。大切なお子さまの安全のために、本装置についてよく理解した上でご使用ください。特に警告事項には十分にご注意ください。

**△保護者および他のご使用の方への警告
本書および自動車の取扱説明書の指示事項を理解しないまま、本装置を自動車へ取り付けたり、使用したりしない。**

安全要件

歐州安全規則では、本装置とその部品の構造と性能、取り付け方法、使用要件、指示事項およびマークが規定されています。本装置は欧州規則 UN ECE-R44/04に適合しています。

認証番号は本装置の背面に貼り付けられています。剥がさないでご使用ください。

注意

本装置は「汎用」幼児拘束装置です。本装置は自動車で一般的に使用するものとして、規則 No.44 の改訂04シリーズに基づいて認可されており、一部を除いて大抵の自動車のシートに適合します。

本装置は、UN ECE-R16または他の同等の規則に基づいて認可された自動車3点式リトラクター付きシートベルトを装備した自動車に限り使用できます。

安全上の重要事項



いかなる場合にも、フロントエアバッグ装備車の助手席には本装置を後向きで取り付けない。

本装置は、剛性部分やプラスチック部分が自動車の可動式シートまたはドアに挟まれないように注意して取り付ける。

自動車の走行中は、いかなる場合もお子さまを本

装置から降ろさないこと。お子さまの世話をする必要がある場合は、路肩など安全な場所に自動車を止めてからすること。

本装置を使用しないときは安全な場所に保管する。本装置の上に物を載せない。

ご使用前ごとに本装置の安全性を必ず確認すること。

定期的に本装置を点検し、損傷がないことを確認する。

短時間であっても、お子さまを一人で車内に残さない。

荷物やその他の物を固定せずに車内に放置しない。自動車が急停車した際にけがをするおそれがあります。荷物の大きさによりリスクが高まる危険があります。

本装置またはハーネス部に改造や追加を行わない。

他社製の付属品や部品を使用しない。本装置の機能が変化することで傷害や死亡のおそれがあります。

本装置は、事故や落下などによる強い衝撃が加わったら交換する。外観は破損していないように見ても、事故や衝撃の影響で本装置の強度が低下し、保護機能が失われるおそれがあります。

不明な点は、弊社お客様サポートセンター(0120-415-814)または、お買い上げの販売店までお問い合わせください。

弊社が本書または本装置に記載した体重制限を超えて使用しない。

△ 本装置は、本書に従って、自動車のシートベルトを正しく通して適切に取り付けることが最も重要なことです。

自動車のシートベルトと本装置のハーネスがねじれていらないことを常に確認する。

△ 本装置を適切に使用しないと、急ハンドル、急停車、または衝突によって重傷、死亡のおそれがあります。

衝突しない場合でも、本装置を適切に取り付けていない場合、またはお子さまを本装置に適切に拘束していない場合、急ブレーキや急ハンドルでお子さまがけがをするおそれがあります。

△ お子さまの安全のために、本装置を正しく取り付けて使用すること。

△ これら指示事項と本装置のラベルに記載されている注意事項を必ず守ること。急停車や衝突時にお子さまが自動車の内装品に衝突するおそれがあります。

△ 本装置は適切に使用することで重傷や死亡の危険性を回避することができますが、必ずしも事故からお子さまを無傷で守るものではありません。

△ 本装置の使用方法はお客様自身で判断せず、本書を読み、理解し、守ることが非常に重要です。

部品、使用法、またはメンテナンスに関して不明な点は、弊社お客様サポートセンター(0120-415-814)にお問い合わせください。その後、速やかにサポートするために、本装置の品番とロット番号、お買い上げ年月日をお手元にご用意ください。本装置の品番ロット番号は、本装置の背面に貼られたステッカーに記載されています。

△ お子さまの安全のために、下記を守ること。

1. お子さまのからだに最適なヘッドレストの位置を選択すること。
2. お子さまを本装置に正しく拘束すること。
3. 自動車内で本装置を取り付けるのに適した座席場所を選択すること。
4. 自動車のシートベルトを正しく通して取り付けること。

△ 重要な警告

自動車の取扱説明書に当該自動車がグループ+、I、II、IIIの「汎用」幼児拘束装置を搭載できると明記されていれば、本装置が正しく取り付けられると考えられます。

△ シートカバーを付けずに本装置を使用しない。

△ 本装置に他社製シートカバーを使用しない。

△ 本書に記載されていない構成で使用しない。

△ 本装置は日光にさらされると高温になります。

△ お子さまを本装置に乗せる前に、必ず金属またはプラスチック部分の表面に触れて熱くないか確認する。高温になった部分に触れると、お子さまがやけどするおそれがあります。

△ 中古の本装置や使用履歴が分からぬ本装置は絶対に使用しない。

△ 本装置は、UN ECE-R44/04 グループ0+(2.5kgから13kg未満)、グループI(9kgから18kgまで)、グループII(15kgから25kgまで)、およびグループIII(22kgから36kgまで)の認可を受けています。

体重に関するガイドライン

後向きチャイルドシートモード/5点ハーネス使用

体重2.5Kgから9Kg未満：**必ず使用**

体重9Kgから13Kg未満：**使用可能**

前向きチャイルドシートモード/5点ハーネス使用

体重9Kgから13Kg未満：一人座り出来る
場合可能

体重13Kgから18Kgまで：**使用可能**

ジュニアシートモード/自動車のシートベルト使用

体重15Kgから18Kgまで：**使用可能**

体重18Kg以上：**必ず使用**

- 1 後向きチャイルドシートモード**
グループ0+(2.5kgから13kg未満)
- ・本装置は自動車の座席に必ず後向きに取り付けてください。
 - ・自動車のシートベルトが青色のラベルでマークされた後向きベルトガイドを通していることを確認してください。
 - ・本装置を自動車に取り付けて固定してください。
 - ・肩ハーネスストラップは、必ずお子さまの肩またはそのすぐ下の位置で使用してください。
 - ・体重9kg未満の乳幼児は必ず後向きで使用してください。
- 2 自動車のシートベルトで後向きに取り付ける**
- 3 本装置のリクライニング位置を倒してください。**
本装置をリクライニング位置1または2に倒します
- 4 自動車のシートベルトを通します。**
- 5 後向きチャイルドシートモード**
グループI(9kgから18kgまで)
- ・本装置は自動車の座席に必ず前向きに取り付けてください。
 - ・自動車のシートベルトが赤色のラベルでマークされたシートベルトガイド1を通していることを確認してください。
 - ・本装置を自動車に取り付けて固定してください。
 - ・肩ハーネスストラップは必ずお子さまの肩またはそのすぐ上の位置で使用してください。
 - ・前向きチャイルドシートモードで使用する時は、乳幼児用座部インサートを取り除いてください。**43** を参照してください。
- 6 自動車のシートベルトを締め付けます。**
- 7 前向きチャイルドシートモード**
グループI(9kgから18kgまで)
- ・本装置は自動車の座席に必ず前向きに取り付けてください。
 - ・自動車のシートベルトが赤色のラベルでマークされたシートベルトガイド1を通していることを確認してください。
 - ・本装置を自動車に取り付けて固定してください。
 - ・肩ハーネスストラップは必ずお子さまの肩またはそのすぐ上の位置で使用してください。
 - ・前向きチャイルドシートモードで使用する時は、乳幼児用座部インサートを取り除いてください。**43** を参照してください。
- 8 自動車のシートベルトで前向きに取り付ける**
- 9 本装置を前向きで自動車の座席に取り付けます。**
- その後、シートカバーを元の位置に戻してください。
不明な点は、弊社お客様サポートセンター(0120-415-814)までお問い合わせください。
- 10 自動車のシートベルトを通します。**
- 自動車のシートベルトをシートベルトガイド1(赤色のラベルでマークされているところ)に通してパックルに留めます。パックルとシートベルトが一直線になっていることを確認してください。シートベルトは、ねじらず平らにしてください。
- 11 図のように、肩シートベルトのロックオフデバイスを開きます。肩シートベルトを本装置側面のロックオフデバイスに差し込みます。**
- 12 自動車のシートベルトを締め付けます。**
- 本装置の中心をしっかりと押し下げます。肩シートベルトを引っ張って締め付けます。
- 13 ハーネスをゆるめます。**
- A** ハーネスを引き出す。
B パックル固定ボタンを押し、パックルを外し、ハーネスをそれぞれの脇に寄せます。
- 14 お子さまを本装置に乗せます。**
- 肩ハーネスをお子さまの肩の上を通して装着します。
お子さまの背中が本装置の背もたれにぴったり接していることを確認してください。
- 15 ハーネスをパックルで留めます。**
- パックルのタングがしっかりと固定されると「カチッ」という音が聞こえます。左右パックルのタングを引っ張り上げて、しっかりと固定されていることを確認してください。
- 16 肩ハーネスストラップの高さが適切であることを確認します。**
- 後向きチャイルドシートモード**
- A** 肩ハーネスストラップの高さはお子さまの肩またはそのすぐ下の位置でなければなりません。
- B** またお子さまの頭の上部は赤色のヘッドレスト/肩ハーネス調節レバーから2.5cm以上低くなければなりません。
- 前向きチャイルドシートモード**
- C** 肩ハーネスストラップの高さはお子さまの肩またはそのすぐ上の位置でなければなりません。
- D** またお子さまの耳の上部はヘッドレストの上部より低くなければなりません。
- 17 肩ハーネスストラップの高さを上下させます。**
- 赤色の調節レバーを強く握り、ヘッドレストを上下に動かして肩ハーネスストラップを適切な高さにします。
- 18 股ハーネスの通し穴の位置を確認します。**
- 適切な通し穴位置は、お子さまのお尻の真下ではなく、お子さまに最も近い位置です。
- 19 調節するには、座部シートカバーを本装置の前面からめくり上げると通し穴を確認することができます。**

- 20 股ハーネスを横向きに回して適切な通し穴までスライドさせます。**
股ハーネスが3つのうち適切な1箇所にあることを確認してください。
- 21 シートカバーを元の位置に戻し、股ハーネスの通し穴と同位置のシートカバーの通し穴を通していることを確認します。**
- 22 腰の周りのゆるみを完全になくします。**
両側のハーネスを引っ張り上げる。自動車の腰シートベルトがお子さまの腰の低い部分を通り、ぴったり調整されていることを確認してください。
- 23 調節ベルトを引っ張ってハーネスを締め付けます。**
お子さまの肩位置でハーネスをつまむことができなければ、ハーネスは十分締め付けられています。
- 24 ジュニアシートモード**
グループII/III(15kgから36kgまで)
ジュニアシート(自動車の腰シートベルト/肩シートベルトでお子さまを拘束する)
- ・本装置は自動車の座席に必ず前向きに取り付けてください。
 - ・ジュニアシートモードで使用する時は、乳幼児用座部インサートを取り除いてください。
 - ・自動車のシートベルトはお子さまに対して平らでなければならず、ねじれがないでください。
 - ・自動車の座席の肩シートベルトがお子さまの首と肩の中央を通っていることを確認してください。
- 25 ハーネスをできるだけ引き出します。**
- 26 ヘッドレストを最も高い位置まで上げます。**
- 27 パックルからタングを外します。**
- 28 座部シートカバーを取り外して、ハーネス格納場所のフタを確認します。(A、B、C)**
- 29 パックルを取り外します。**
- A** 本装置を倒して股ハーネスベルト最下部にある留め金具の位置を確認します。
- B** 留め金具を穴のうしろから押し上げて、本体上面からパックルを引き出します。
- 30 ハーネス格納場所のフタを開いてハーネス、パックル、タング、股ハーネスカバーを格納場所の中に入れ、フタを閉じます。**
- 31 ハーネスカバーを格納します。**
図に示すように、ハーネスカバーを本装置背もたれのハーネス格納場所に収納します。
- 32 シートカバーを元の位置に戻します。**
お子さまに適した位置にヘッドレストを動かして戻します。
- 33 本装置のリクライニング位置を起こします。**
ジュニアシートのリクライニング位置4に起こします。
- 34 本装置/ジュニアシートモードを前向きで自動車の座席に取り付けます。**
3点式シートベルトを装備した自動車の座席に前向きで取り付けます。ベースが自動車の座席にできるだけぴったり接するようにします。
- 35 お子さまをジュニアシートに乗せます。**
お子さまをジュニアシートに乗せ、お子さまの背中がジュニアシートの背もたれにぴったり接するようにします。
- 36 自動車の肩シートベルトをヘッドレストのジュニアシート用肩ベルトガイドに通します。**
- 37 自動車の腰シートベルト/肩シートベルトのパックルを留めます。**
- A** 自動車の腰シートベルトが、濃い赤色のラベルでマークされたアームレストの後ろを通していることを確認します。

付属品(一部のモデルのみ)

④〇 インナーカッショニ

お子さまの肩の位置が肩ハーネスストラップの最も低い位置より低い場合は、インナーカッショニを使用する必要があります。

インナーカッショニがお子さまの後ろで突き出たり、折れ曲がったりしないようしてください。取り外す際には、パックルを外してから引き出してください。

④一 体重が2.5kg~5kgの乳幼児にはインナーカッショニ用追加パッドをご使用ください。5kgを超えたたら追加パッドを取り外してください。

④二 頭部クッション

頭部クッションを引き出すと取り外すことができます。

④三 乳幼児用座部インサート

乳幼児用座部インサートは、本装置を後向きに取り付けた場合のみ必ず使用してください。前向きで使用する場合は取り外してください。

A 取り付けるには、シートカバーを外して確認します。

B 面ファスナーを上向きにし、中央の穴の位置が前寄りになるよう向きを合わせて穴にパックルを通してます。

乳幼児用座部インサートの穴の中央に股ハーネスベルトの3つの通し穴ができるように置きます。シートカバーを元の位置に戻してください。

④四 カップホルダー

カップホルダーはいずれか片側に取り付けることができます。

A カップホルダーの取付位置を確認します。

B 所定の位置に固定されるまでガイドに沿って滑り降ろしてください。

C 取り外すには、両手でカップホルダーの下から押し上げてください。

自動車の取り付け座席を選択する

自動車の取扱説明書を参考にして取り付け座席を調べます。

本装置に最も適した装着座席は以下です。

- ・自動車の取扱説明書で推奨された座席。
- ・本装置を固定して取り付けられる座席。

危険な自動車の取り付け座席

本装置は、以下の座席／場合には絶対に取り付けないでください。

④五 後向きまたは横向きの自動車座席。

④六 フロントエアバッグが搭載されている自動車の助手席での後向きチャイルドシートモード使用。

④七 腰シートベルトのみ自動車座席でのジュニアシート使用。

自動車のシートベルト
自動車の取扱説明書を参考にして自動車のシートベルトの使用法を確認してください。

④八 自動車座席のヘッドレストによって自動車座席とジュニアシートとの間に隙間が生じないようにすること。

④九 ジュニアシートのベースの前面が自動車の座席の前面より前に出てはいけません。

お子さまが自動車のシートベルトを適切な位置に保てないようであれば、このジュニアシートは**使用せず**、別の装置を使用する。

④〇 シートベルトのタイプを特定する

本装置が使用可能な自動車のシートベルトのタイプは1つのみです。

④一 3点式シートベルト(腰シートベルト/肩シートベルト)

すべての使用モードで使用できます。

シートカバーのお手入れ

④二 ヘッドレストカバー

必要に応じて、ヘッドレストカバーを取り外して洗濯できます。

A 取り外すには、カバーのスナップを外してハーネスを引き出します。

B 赤色の調節レバーの真下にある通し穴からプラスチックタブを引き出します。

C ヘッドレストの両側にある留め金具からゴムベルトを取り外します。

D カバーをヘッドレストから外します。

ネットを使用して洗濯機で洗うことができます。固く絞らず平干しします。漂白剤は使用しないでください。上記の逆の手順でカバーをヘッドレストに取り付けます。

④三 シートカバー

必要に応じて、シートカバーを取り外して洗濯できます。

A 取り外すには、カバーサイドからシートカバーのスナップを外します。

B アームレストの両側にあるプラスチックタブを外します。

C アームレストの両側にある留め金具からゴムベルトを取り外します。

ネットを使用して洗濯機で洗うことができます。固く絞らず平干しします。漂白剤は使用しないでください。

上記の逆の手順でシートカバーを取り付けます。本体座面部前面の両端の角にシートカバーのポケットをひっかけます。

④四 サイドシートカバー

必要に応じて、サイドシートカバーを取り外して洗濯することができます。

A 取り外すには、ヘッドレストを下げて背面からカバーのゴムベルトを取り外します。

B 本装置の背面と側面からプラスチックタブを取り外します。

C 前向きベルトガイドの留め金具からゴムベルトを取り外します。

カバーを外します。

ネットを使用して洗濯機で洗うことができます。固く絞らず平干しします。

漂白剤は使用しないでください。

上記の逆の手順でサイドシートカバーを取り付けます。再度本体の背もたれ上部の両端の角にシートカバーのポケットをひっかけます。

④五 ハーネスカバーを清掃する

湿った布で拭き取ってください。

④六 パックルを洗浄する

△ 警告パックルにタングが装着できない原因となるため、隨時パックルの点検および清掃をし、異物や破片を取り除く。

A 本装置を倒して股ハーネスベルト最下部にある留め金具の位置を確認します。

B 留め金具を穴のうしろから押し上げて、本体上面からパックルを引き出します。

C パックルを洗浄するには、温水の入ったカップの中に入れて、ゆっくりかき混せてください。温水の中で赤色ボタンを数回押してください。
股ハーネスは液体につかないでください。石鹼、家庭用洗剤、または潤滑剤を使用しないでください。

D 余分な水を振り落として自然乾燥させます。パックルがカチッと留まるまで、必要に応じてこの手順を繰り返してください。取り外した差込口にパックルを再び差し込みます。パックルを引き上げて、固定されていることを確認してください。

ハーネスの洗浄

刺激の少ない洗剤と湿った布のみを使用して表面を洗浄します。ストラップの強度が低下する場合があるため、ハーネスストラップを水に浸さないでください。

ハーネスが擦り切れているか、または汚れがひどい場合は、弊社お客様サポートセンター(0120-415-814)にご連絡ください。

55 本書は、図に示した取扱説明書収納ポケットに差し込んで保管してください。

アフターサービス

部品や付属品など、アフターサービスに関するお問い合わせは弊社お客様サポートセンター(0120-415-814)までご連絡ください。

〈保証期間とアフターサービス〉

- アフターサービスについて

ご使用中に故障などが発生したり、点検中に発見した場合、部品の交換または修理の必要が生じた場合、及びその他異常を感じた場合は、ご使用を中止し製品名・品番・ロット番号をご確認のうえ弊社お客様サポートセンター(0120-415-814)または、お買い上げの販売店までお問い合わせください。

- 保証期間中（お買い上げ日より1年間です。）に部品の欠品、不良加工など弊社の責任によるもの、取扱説明書や注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、保証規定にもとづき無償修理を致します
ただし、お預かりした製品を確認した結果、弊社にて修理ができないと判断した場合は製品交換とさせていただくことがあります。

- ご購入日より3年以上経過した製品についての修理はいたしますが、製品の修理箇所以外の品質の保証はいたしかねます。（修理箇所の保証期間は1ヶ月です。）

また、製造中止後の製品については、修理必要部品の在庫がなくなった場合、修理が出来ないこともあります。
(部品の保有期間は、製造中止後3年間です。)

- お問い合わせの際は、スムーズな対応が行えますよう、品名・品番・ロット番号を必ずお伝えください。



